

令和8年1月22日

府中市長 高野 律雄 様

府中市環境審議会
会長 吉田 智弘

第3次府中市環境基本計画の進捗状況について（答申）案

令和7年8月4日付、7府生環第129号で諮問のあったことについて、当審議会の意見は別紙のとおりです。

諮問 「第3次府中市環境基本計画の進捗状況について」

2023年度から2030年度を計画期間とする第3次府中市環境基本計画について、2024年度の各方針の進捗状況について確認いたしました。基本方針ごとに定めている成果指標の評価結果及び外部要因をもとに、各方針の総合評価を行いました。結果につきましては、次のとおりです。

- 基本方針1 「やや遅れが生じているが概ね順調に進捗している」
- 基本方針2 「目標どおりに順調に進捗している」
- 基本方針3 「目標どおりに順調に進捗している」
- 基本方針4 「**やや遅れが生じているが概ね順調に進捗している**」

※基本方針1は、最新の数値である2022年度までの削減実績を元に評価しています。

※**基本方針5は、分野横断的な取組であり、基本方針1～4を推進するための施策であるため、総合評価の対象に含めておりません。**

上記の結果から、本審議会では、概ね順調に進捗していると判断いたしました。高効率給湯器や太陽光発電、蓄電池、断熱窓への補助件数につきましては、2023年度から大幅に増加し、目標以上の結果となっております。これは、2024年度より補助金の申請手続きを簡略化したことや、近年、東京都や国などの省エネ設備への補助金制度の拡充などによる市民の関心の高まり等によるものだと考えられます。**この市民の関心の高まりを維持・増加するための施策を求めます。**そのほか、認定農業者数やまちなみや景観がよく保全されていると感じている市民の割合等につきましても、昨年度に引き続き、目標以上の結果となっております。

一方で、水質、大気、騒音・振動の環境基準適合率や府中かんきょう塾に参加した人数、多摩川清掃市民運動参加者数につきましては、昨年度に引き続き、目標達成が難しいという評価となっております。これらの指標につきましては、**目標達成に向けた改善策を検討し、目標及び施策の強化などの見直しを行い、迅速に実行していくことを求めます。**

来年度は本計画の中間年に**当たる**ため、継続的なPDCAサイクルを通じて**目標および施策の見直しを行い**、計画の更なる推進に向けた取り組みを期待します。